

福祉をみんなで考える「なかいっこタイム」

島田 由紀子

【推進員認定期】第10期 【所属】鳩ヶ谷市社会福祉協議会(社協) 【活動エリア】鳩ヶ谷市

学習対象者	小学生(4年生130名) 中学生 高校生 住民 その他()
内 容	障がい理解 (車いす体験、アイマスク体験、障がい者と交流、施設体験、 その他 (手話体験、点字体験)) 高齢者理解 (高齢者疑似体験、高齢者と交流、施設見学、その他 (講話)) その他の理解 ()
所用時間	6回(2カ月間)1回あたりの時数：?時間(総合的な学習の時間を活用)プラス1回
ねらい	学習のねらい・・・「福祉について考える」人とかかわり、話をきき、自分の体を通して自分のできることを考える 社協としてのねらい・・・子どもたちと地域の高齢者、障がい者、ボランティアさんなど様々な人と出会い、今回の福祉学習に関わった人たちが子どもたちを核に結び広がる地域に！

はじめに

中居小学校では、鳩ヶ谷市社協が指定する「福祉学習推進校」として、毎年福祉学習に取り組んでいる。市社協としては、昨年まで学校側のプログラムの中に、講師の紹介と福祉器具の貸出、体験学習の指導をしてきた。今年は学校と授業の組み立てを協働した。社協のもつ専門性と「地域とのネットワーク」を活かした授業づくりをし、一歩すすんだ福祉学習ができた。

実践内容

10/14(木)5・6 時間目 (障がい者理解)

障がい者団体「いーはとーぶ」交流学習会(体育館)
・車いすの使い方と体験、お話と質問、ゲーム(指相撲)

10/18(月) (高齢者理解)

【講話】市デイサービスセンターふれあい 所長
【食事会:招待給食会】地域の高齢者のみなさんと

10/20(水) (福祉スリーチャレンジ: 障がい+高齢者理解)

(1)【高齢者疑似体験(教室)】 指導:福祉学習協力隊2名、 高齢者めがねを使って

(2) [車いす体験(校庭)] 指導:市社協職員、学校の中を車いすでリフトカーに乗ってみよう

(3) [アイマスク体験(教室)] 指導:市社協職員、視覚障害者の世界を体験

10/27(水) 5・6時間目(多目的室)

【盲導犬ふれあい交流体験】

「心の目で見て、心をつかむ」 講師:盲導犬ユーザー 水出さん

11/1(月) 5・6時間目(多目的室)

【手話体験】 指導:市聴覚障害者協会 会長

【講話】 「聞こえないってどんなこと」音のないビデオを見る、「ビリーブを手話で歌おう」など

11/11(木)

【点字体験】 「はじめての点字」

2003年1月

【施設見学学習】社協とデイサービスセンター

ここがポイント！

- ・ 学校と社協とで話し合い、学校の授業の大まかな組み立ての中に目的を確認し合い、社協の専門性を活かし、学校ならびに講師にプログラムの内容を詳細に提案する。
- ・ 昨年、「ボランティア講座修了生」から募集して「福祉学習協力隊」を作り、協力隊の参加も授業を円滑に進める大きな力になった。
- ・ 社協がもつ「地域の人々のネットワーク」と学校と結びつけ、小学校を見守る地域づくり
- ・ 社会福祉協議会の仕事を子どもたちに知ってもらう。
- ・ 6時間の授業に関わった人たちから、子どもたちが想像以上に多くのものを学んだことをふりかえりの感想文で知ることができた。
- ・ 講師(視覚障害者)への感想文を広報の音訳ボランティアグループに依頼し、テープ起しをしプレゼントできた。ボランティアグループの方々にも授業の内容と子どもの思いを知ってもらえた。

成果と課題

【成果】

・ 講師も驚くくらいのやんちゃな学年だったので不安があったが、感想文からどの授業も全員が実りの多い学習であったことが分かる。子どもの「心」に力があることを知ることができた。

障がいを持っていようがなかろうが、みんな同じだということが分かった。

「何をするときも相手の立場に立ってみる」とよくお母さんに言われるので意味がすごく分かった。

障がい者の人や高齢者の方が困ったら助けます。私も年をとったら助けてほしいなと思います。

・ 学習をつくる上で多くの人々の参加を得られた。招待給食に参加した方から、「道を歩いていて子どもたちから××さんこんにちわ！と挨拶されうれしかった。」と後日聞く。

【課題】 次年度に継続できるかどうかは担当の先生による。社協からの提案だけでは学校は動かない。今回の中居小学校の事例を活かし、福祉教育のアピールをもっとしなければならない。

授業に関わってくれる推進員を鳩ヶ谷市に増やし、授業の質を多くの人と向上させたい。